ハドソン河のモスコー（1984）

MOSCOW ON THE HUDSON

メディア 映画
ジャンル ドラマ　コメディ
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 115分
公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

ソ連が崩壊した現在、本作に描かれた文化ギャップの微妙なおかしみが、製作当時のまま無邪気に楽しめるかは疑問だが、レーガン政権下、米ソ間が最も緊張していた時期に作られた作品としては相当に仮想敵国に対し同情的なこの映画、むしろエスニックの混成地帯、ニューヨークの人情喜劇としての側面を大いに楽しむべき（Ｐ・マザースキー監督の町のディテール描写は長けている）。サーカスの公演で、ＮＹにやってきた楽団員が、デパートの買い物の混雑に乗じて亡命を謀り成功。そこの警備員と親しくなり、しばらく彼の家に厄介になり、仕事を探すが、凄腕の奏者が街頭で稼ぐ町。自慢のサックスもまるで通用せず、様々な職を転々、言葉も不自由なものだから、自ずと孤独をかこつようになる。しかし、根は陽気な彼、いつしか恋人もでき、自分に目標さえ持てれば、ここも住めば都と思い直す。随所にソ連での生活の回想が入り、トイレット・ペーパーを買う行列など余りにリアルなものだから、余計な気を廻した配給会社が日本公開を差し止めたとか。だとすれば愚かな話だ。予想されることだが、アクセントや言葉の違いのギャグが実に豊富で、ウィリアムスは実によく廻る舌で期待通り応えてくれる。ペーソスもほどほどに、彼最高の芝居だろう。

【クレジット】

監督	ポール・マザースキー	Paul Mazursky
製作	ポール・マザースキー	Paul Mazursky
脚本	ポール・マザースキー	Paul Mazursky
	レオン・カペタノス	Leon Capetanos
撮影	ドナルド・マカルパイン	Donald McAlpine
音楽	デヴィッド・マクヒュー	David McHugh
出演	ロビン・ウィリアムズ	Robin Williams
	マリア・コンチータ・アロンゾ	Maria Conchita Alonso
	クリーヴァント・デリックス	Cleavant Derricks
	アレハンドロ・レイ	Alejandro Rey
	サヴェリ・クラマロフ	Savely Kramarov
	エリヤ・バスキン	Elya Baskin
	フレッド・ストローザー	Fred Strother

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.